

新規就農者確保・育成に向けた包括連携協定を締結しました

新規就農者の確保・育成は、農政の最も重要な柱の一つであり、農業委員会組織としても、目標地区の素案や地域計画の基礎となる優先課題の一つとなっています。

宮城県農業大学校では、卒業予定者や研修課程の修了予定者など新規就農を目指す者の、着実な自営就農、農業法人への雇用就農等を目的に、本会をはじめ関係機関5者による「新規就農者確保・育成に関する包括連携協定」を締結することとなりました。

締結式は、9月6日、農業大学校を会場に行われ、宮城県農政部の宮川部長を立会人に、宮城県農業大学校の金岡校長、宮城県農業法人協会の日野会長、公益社団法人みやぎ農業振興公社の江畑理事長、一般社団法人宮城県農業会議の中村会長、宮城県農業協同組合中央会の佐々木会長が協定書に署名しました。また、締結式終了後の施設見学では、学生たちが自ら取り組んでいるプロジェクト研究について説明を行っていました。

今後、協定を締結した各組織が連携推進会議等を通じて、就農希望者の情報、支援施策や農地の確保に関する情報等の情報を共有し、それぞれの役割に応じた支援を行っていくことで、効果的で着実な新規就農者の確保・育成に繋がることが期待されます。

